



企画・編集・発行／清里まちづくり協議会 事務広報部
 清里まちづくり協議会事務局／〒370-3573 前橋市青梨子町339 (清里公民館内) TEL027-251-9005 FAX027-255-0341

各部会の活動状況

【子ども八木節部会】
 8月までは活動を休止することと
 しています。

【まちづくりだんべえ部会】
 現在、公民館施設の利用制限がかかっていますので当面は活動休止しています。

【花いっぱい運動部会】
 オープンガーデンは清里地区内に限定しての公開を実施。また、花壇の手入れは欠かせないので3密にならない様、注意して活動していきます。

【食育部会】
 各行事が再開した時に対応できる様、役員だけの参加ですが、今年度もきよさと焼用の枝豆の種まきを実施しました。ただし、コロナ禍により行事の中止が決定しているものもありませんので、例年よりも少なく作付けしました。

【ふるさと祭部会】
 コロナ禍のため令和2年度の「第7回清里ふるさと祭」は中止となりましたが、令和4年度の開催を目指して準備を進めていきます。

令和3年度(2021年度) 清里まちづくり協議会名簿

委員(85名)		本部役員(13名)	
団体名		役職名	氏名 所属団体・役員
・自治会長(5)・民生児童委員(2)		会長	高瀬 照雄 元・自治会連合会長
・教育振興会長(1)・子育て本部役員(5)		副会長	松下 順久 連合会長(青梨子町前原自治会長)
・子ども会支部長(5)・生涯学習奨励員(5)		"	吉澤 信夫 池端町自治会長
・体育協会長(1)・青少年育成推進員(5)		"	清水 政幸 上青梨子町自治会長
・防犯委員地区分会長(1)・交通指導員(3)		"	田村 秀樹 青梨子町自治会長
・少年補導員(5)・更生保護女性部(6)		"	間仁田 強 清野町自治会長
・保健推進員本部役員(4)・保護司(2)		事務局長	木暮 桂一 前・清野町自治会長
・食生活改善推進員本部役員(2)		書記	田村 孝夫 生涯学習奨励員連絡協議会長
・清寿会連合会(4)・清里ボランティア(2)		会計	馬場 利夫 民生児童委員協議会長
・消防分団長(1)・JA前橋市理事(1)		監事	笠井 吉行 教育振興会長
・農地利用最適化推進委員(2)		"	松下 均 前・事務局長
・清里小、六中PTA本部役員(8)		顧問	下境 義光 前・顧問
・各専門部会正副会長、連絡員(15)		"	田村 孝 前・青梨子町自治会長

※()内の数字は人数

部会名	部会長	副部会長
花いっぱい運動部会	櫻井 恭子	馬場 隆雄 福田 恭己
社会福祉部会	吉澤 信夫	馬場 利夫(会計兼務)
食育部会	関口 美佐江	板垣 みどり
まちづくりだんべえ部会	布施川 美里	星野 和代
事務広報部会	桜井 勝	蜂巣 陽平 酒井 義明
子ども八木節部会	小池 英子	林 くみ
ふるさと祭部会	井上 隆	志賀 晴史
前橋地域づくり連絡会 委員	高瀬照雄(会長兼務)	新井 博孝

令和三年度の活動について

梅雨が明け、今年も暑い夏本番を迎えますが、新型コロナウイルスの第四波により、私たちの日常生活も大変な状況下にあります。

五月から始まった高齢者へのワクチン接種に期待し、ぜひ多くの皆さんが接種して、ご自身や家庭内、そして地域の皆さんが安心して生活できるようにと思っております。

さて、「まちづくり協議会」は四月に新役員による会議を開催し、昨年度の事業報告・決算と今年度の事業計画と予算について協議いたしました。

今年度事業は前年度と同様ですが、群馬県の「警戒レベルが三になるまでの間は感染予防のため、事業の中止、または縮小して実施いたします。

春のオープンガーデン、五月の枝豆種まき規模縮小して実施済、七月の枝豆収穫祭、だんべえ部会と子ども八木節部会など、事務広報部会を通して地域の「文化事業・環境整備」に努めていきます。

今回の会議では、この三月で退任されました、顧問の松下博寿さんと新井孝さんに感謝状を贈呈させて頂きました。松下さんは平成十八年の創設時から会長、事務局長として十五年間にわたり、「まちづくり協議会」の基礎固め、発展に尽力されました。また、新井さんは、「きよさと焼」の対外広報と「花壇」の維持管理に尽力されました。大変ご苦労様でした。感謝申しあげます。また、事務広報部会の編集に永く携われた高橋隆さんが退任され、新たに峰巢陽平さん、酒井義明さん、新井博孝さん、笹澤伸一さんが就任されました。

「心豊かで活力のあるまちづくり」を目指し、地域の皆さんが自慢とする物や活動情報等を広報誌に載せてみませんか。幅広く募集いたしますので是非お寄せ下さい。

清里まちづくり協議会長 高瀬 照雄

枝豆の種まき

令和3年5月8日(土)の雲一つない晴天のなか、青梨子町の菅原神社参道入口西側の畑で、枝豆の種まきを行いました。作付け面積は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため各種事業への制約が生じることを考慮して、例年の半分程度としました。

種まき作業は、協議会本部役員と公民館担当者等とで密にならないように行いました。田村副会長(青梨子町自治会長)の指導の下、営農者も多く手際よく作業が進み、650株の植え付けを40分程度で終わることができました。

清里まちづくり協議会の食育部会では、平成19年より清里地区の特産を活用した「きよさと焼」で、子供たちに地域の良さや伝統を、楽しく、美味しく学ぶ機会を設けてきました。そのきよさと焼きの材料として使われる枝豆は、毎年この時期に種まきを行い収穫されたものを年間通して使っていきます。例年は、種まき～収穫作業も子供たちの学びの場として提供してきましたが、コロナ禍が収束するまではお預けです。

各種のまちづくり事業が中止・縮小するなか、コロナ収束の際にはスムーズに日常が取り戻せるように、粛々と活動準備を進めていきます。また、この機会を変革の好機ととらえて新しい取り組みにも積極的に挑戦していきたいと思っております。

枝豆の収穫までは約75日、お近くをお通りの際には日々成長する姿を楽しんでください。併せて、まちづくり協議会の活動も暖かく見守っていただけたら幸いです。(酒井)

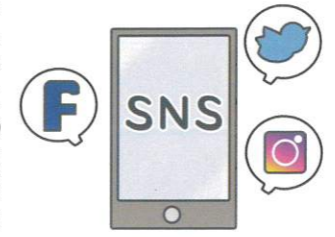


編集後記

本誌を発行している「事務広報部会」は、今年度より新メンバーの増員で、よりパワーアップして活動していきます。今までは記事を依頼して掲載することが多かったですが、今後は積極的に取材に出かけて記事を作成したいと考えています。また、「まちづくり協議会」の活動記事だけではなく、地域の話題等の情報発信もしていきます。今年度もコロナ禍により多くの行事の中止が想定されますので、次号では地域情報の特集記事の掲載を検討しています。

現在、SNSを活用した情報発信も検討しています。若年層はインターネット利用率が高く「テレビ」よりも「ネット動画」を見る、「新聞」よりも「ネットニュース」を見る傾向が強くなっています。特に10代20代の若者はSNSでリアルタイムな情報を収集する人が多いようです。よって、若年層には本誌のような情報誌よりもSNSの方がなじみ深いと思いますので情報を拡散させるためには非常に有効な手段であると考えます。

地域の情報をみなさんに知ってもらう事により、地域の活性化に繋がってほしいと思います。(桜井)





【笠井吉行さん】
 北側の拡張部分に、去年新たにバラを植えたとのことでした。バラ園のようにさまざまバラが咲いています。



【馬場智江子さん】
 「特にこれが見所というものはありませんが、全体を見て楽しんでください。」



【関根佐智子さん】
 「アーチのバラが見頃です。」



【須藤くに子さん】
 「木陰でくつろげる癒しの庭」、「高原の様な庭」です。夜になると樹木がソーラー照明でライトアップされ幻想的な美しさだそうです。



【花はな花壇】
 「今の花壇は、11月にメンバーで植えたものです。長く花壇を楽しめるように開花時期の遅いキンギョソウを植えています。」



【清里小学校】
 「オープンガーデン清里」デビューです。学年別に花壇が作られています。」



【前原花壇】
 前原地区にある小さな花壇です。この他にも、上青梨子地区の淡島神社前にも小さな「淡島花壇」があります。」



「オープンガーデン清里」開催

昨年度は、コロナ禍により開催中止とさせていただきましたが、今年度は感染防止対策を遵守して、清里地区内のみ案内として開催しました。今回は新たに清里小学校の参加もありました。オープンガーデンに参加した地域の花愛好家の皆さんの丹精込めたお庭を紹介し、誌上でオープンガーデンをお楽しみください。今年度の公開を見逃した方は次回開催時に是非お越しください。

【新井 孝さん】

「今年初めて、ハンギング(植物を植えて壁に掛けて飾る。)を行いました。安価で良く見せられるよう、工夫をしています。」



【櫻井恭子さん】

ボタンがきれいに咲きました。しばらく前には枝垂れ桜がきれいに咲いていました。秋には紅葉がきれいになります。」



【関根君江さん】
 「今年はお金をかけないで、きれいに見せられる様に工夫しました。」

【松下葉月さん】
 「毎年、パンジーは、種から育てています。9月に種まきし11月に移植しました。」モグラによる害がひどかったため、ソーラー式のモグラ防除器を入れたそうです。」



【櫻井けい子さん】

「花の開花時期が丁度良さそうな日を選んで、公開日をきめました。」珍しい花がたくさんありました。」



【田村道子さん】

「今年、つるバラが大きく育ったので見応えがあります。」

